

発信年月日：令和8年3月6日

所属部課		連絡先	TEL 0837-23-1237
経済産業部 農林水産課			FAX 0837-22-8458
件名	『長門市未来農業講演会～次世代に繋ぐ持続可能な農業デザイン～』を開催します！		

本市では、農業を持続可能な成長産業にすることを目指し、「長門市未来農業創造協議会」において議論を重ねながら、担い手育成をはじめ、有機農業やスマート農業等の推進に取り組んでいます。

その一環として、青森県黒石市で有機農業やスマート農業を実践する、株式会社アグリーンハート代表取締役 佐藤 拓郎(さとう たくろう) 氏を講師に迎え、自らの経営手法や考え方、実践内容等について体験談を交えて語っていただきます。

ぜひ、多くの方に参加をいただきたく、事前告知と当日の取材をお願いします。  
なお、講義の長時間撮影・録音はご遠慮くださいますよう併せてお願いします。

### 記

#### 1 日時

日時：令和8年3月17日(火) 15時から17時まで(受付は14時30分から)

#### 2 場所

ラポールゆや コミュニティホール  
(長門市油谷新別名 10833 番地)

#### 3 主催

長門市未来農業創造協議会(長門市)  
共催) 長門大津地区農業法人連絡協議会、長門有機農業生産部会(NO A)  
(JA山口県長門統括本部)

#### 4 内容

演題：有機農業×スマート農機×ノウフク連携×CSAで描く地域デザイン

- ・省力化・収益性増大は有機農業だから成立する
- ・スマート農業全般と今後の地域農業の未来
- ・休耕地再生×有機農業×ノウフク連携×地域支援型農業
- ・水稻直播についての今までの取り組み紹介
- ・「売ってからつくる」共感資本農業経営

## 講師プロフィール

■講師：佐藤 拓郎(さとう たくろう)

1981 年生まれ

6代目の農家として黒石市に産まれるが、高校3年の時、4代目の祖父の経営が破綻。父は農業継続を選択した為、高校卒業と同時に就農。その後32歳で脳梗塞の発症を機に家族経営の限界を感じ、地域に持続可能な経営体を残すために法人化。

2017年に株式会社アグリーンハートを創業。休耕地を有機農業と農福連携で再生し、収穫された有機米は市内の学校給食への提供を年々増やしている。2025年は78haのうち59haで有機栽培を実践。

スマート農業や地域支援型農業を取り入れ、食育やファンづくりに力をいれながら、慣行栽培よりも生産コストがかからない有機栽培を実践中。誰でも簡単にできる有機栽培技術の確立と、地域内循環型有機農業の確立を目指す。

（主な肩書き）

- ・シンガーソングライター
- ・黒石観光大使
- ・青森県学校教育サポーター
- ・元TVリポーター
- ・くろいし有機農業推進協議会 会長
- ・黒石市総合計画審議会 委員
- ・青森県ユニバーサル農業推進委員
- ・農林水産省 食料・農業・農村政策審議会委員
- ・農林水産省 農林水産技術会議評価委員
- ・農林水産省 スマート農業イノベーション推進委員
- ・日本有機農業協同組合 理事



- 5 申込先および問い合わせ先  
聴講を希望される方は、右記QRコードで申し込み、または、下記担当までメールまたは電話にてお申込みください。

長門市経済産業部農林水産課 担当：井上  
TEL 0837-23-1237  
Email : [nogyo.shinkou@city.nagato.lg.jp](mailto:nogyo.shinkou@city.nagato.lg.jp)

J A山口県長門統括本部指導販売課 担当：古谷  
TEL 0837-22-3170  
Email : [11-shidouhanbai@ja-ymg.or.jp](mailto:11-shidouhanbai@ja-ymg.or.jp)

参加申込は  
こちら↓



<https://forms.gle/dyGNHnNyWQuCmf9dA>